

乗越議員、大谷議員が聞く

大学の 地域連携

表紙写真／話をお聞きした皆さん

今回は、「大学の地域連携」というテーマで、市内にキャンパスがある4つの大学の方々にインタビューしました。

プロフィール



広島大学
産学・地域連携センター
地域連携部門長・教授
塚本 俊明さん



近畿大学工学部
事務長
片山 慎一さん



広島国際大学
研究支援・社会連携センター
部長 後藤 寛さん



エリザベト音楽大学
学事部
部長 遠藤 秋実さん

学生に地元の良さを

積極的にアピールしていく

Q 自己紹介をお願いします。

塚本 広島大学の産学・地域連携センターで地域連携部門長をしています。

片山 近畿大学工学部の事務長をしています。

後藤 広島国際大学の研究支

援・社会連携センターで部長をしています。

遠藤 エリザベト音楽大学で学事部長をしています。

Q 各大学では地域とどのようなかわりを持たれていますか。

塚本 地域連携推進事業といっ

て、地域の方から解決してほしい課題を大学に提案していただき、教員や学生が地域の方と一緒に研究・活動を行って課題を解決するという事業を行っています。

片山 福富町での古民家再生プ

ロジェクトなどの事業を行っています。大学としては教員の知識・学生のパワーなどの資源を提供して地域に貢献していきたいと考えています。

後藤 本学では東広島市版「大学連携型CCRC」について市と共同で基本構想を作成させていただいています。地域が直面する課題を解決するために、研究、そして教育、人材育成があるというような形で取り組ん



②



③



①



④



⑤

- ① インタビュー風景
- ② 広島大学の地域連携推進事業（オオサンショウウオの分布調査）
- ③ 広島国際大学の子供向け職業体験講座（救急救命士のお仕事）
- ④ 近畿大学の古民家再生プロジェクト
- ⑤ エリザベト音楽大学の東広島市大学連携推進事業（親子コンサート）

でいかなければならないと思っております。

遠藤 市内で活動されているジュニアオーケストラの指導や指揮などの面で、かわらせていただいております。

Q 議会に対して求められていることはありますか。

片山 公務員志望の学生がおりますので、学生に対して「議会はどうやって運営している」ということを早めに教えていただければ、「生の市議会」を知ることが出来ると思います。

後藤 意見交換会とか、各委員会で議会報告会などをされたりしていると聞いておりますので、議員が提案する議案というものがたくさん出てきて、よりよい東広島市政につながるんじゃないかと思っております。

塚本 学生たちが今、地域のことに興味を持って何か参画しようという活動が、なかなか議会と結びついてない。それが悪いことなのかどうかというのは判断できませんけれども、実態と

してはそのような気がします。
Q 市内で学生が就職・定住するために必要なことは。

塚本 市として、地元について積極的にアピールするところはアピールしていただくことをお願いしたいと思います。

片山 企業を市がバックアップをしながら育てていくということところが、大事な気がします。

後藤 多様な雇用の受け皿の確保です。魅力ある企業の大卒求人が多いと、そこに応募し、就職し、出会いがあって結婚し、定住するという流れになるのではないかと思えます。

遠藤 本学の場合、文化芸術に目を向けてくださる企業をどんどん東広島市へ誘致していただきたい。そこをアピールしていくと、卒業生が「じゃあ、ここへ行くのか」ということになるかもしれません。

※(OCHIC) …中高年齢者が移住し、介護・医療が必要となる時期まで、継続的なケア等を受けながら、社会活動等に参加するような「ミニシティのまち」。